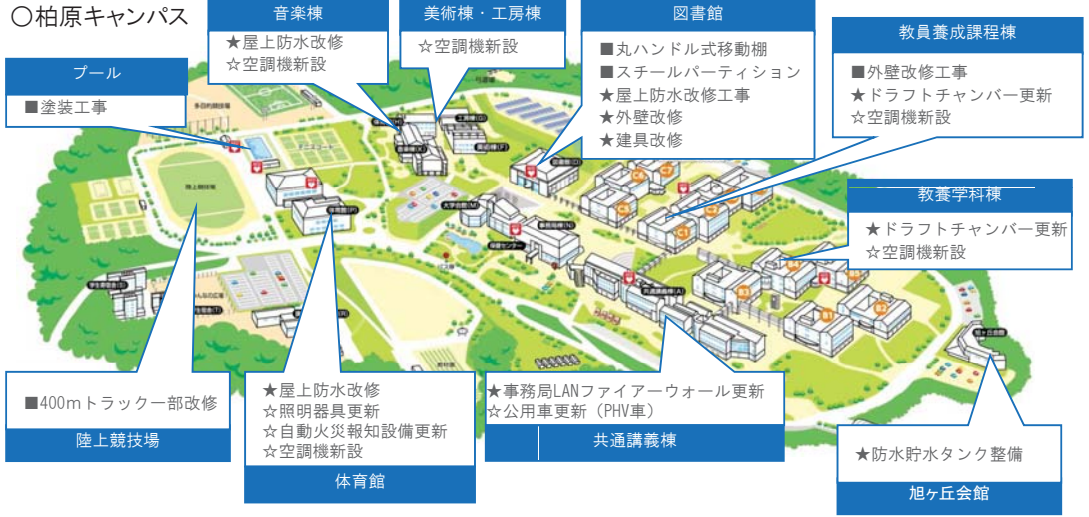


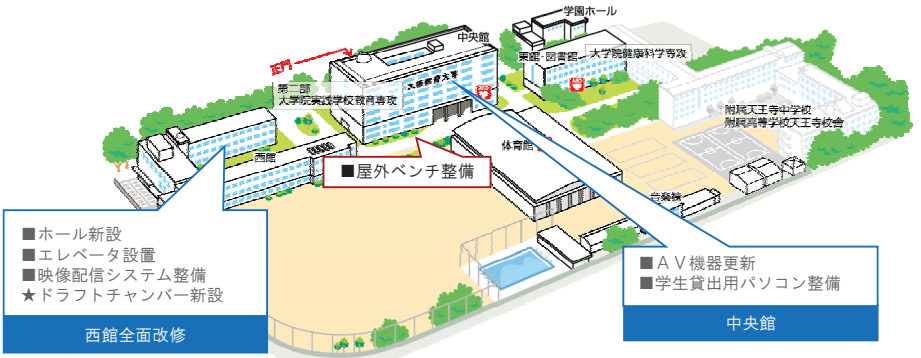
こうなってまっせ大教大

Q. どんな環境整備やってんの？

学生の教育活動等を支援するため、平成25事業年度においては、以下のような施設・設備の整備を行いました。



○天王寺キャンパス



施設整備(柏原)

- ★屋外照明設備改修
- ★防災緊急放送設備
- ★業務放送構内配電線路設備
- ★一斉放送設備・自動火災報知設備
- ★橋梁耐震補強工事
- ★高置水槽タンク増設
- 上水ポンプ更新
- 給水管基幹部分更新

附属学校園

- 一般教室への電子黒板の整備を完了
- タブレット端末整備 (天小中・池小中・平小中・特支)
- ★校舎改修 (平中高)
- ★運動場環境整備(囲障)工事 (池中高)
- ★厨房設備整備 (幼稚園)
- ★給水設備改修 (天小中高・池小中高・平高)

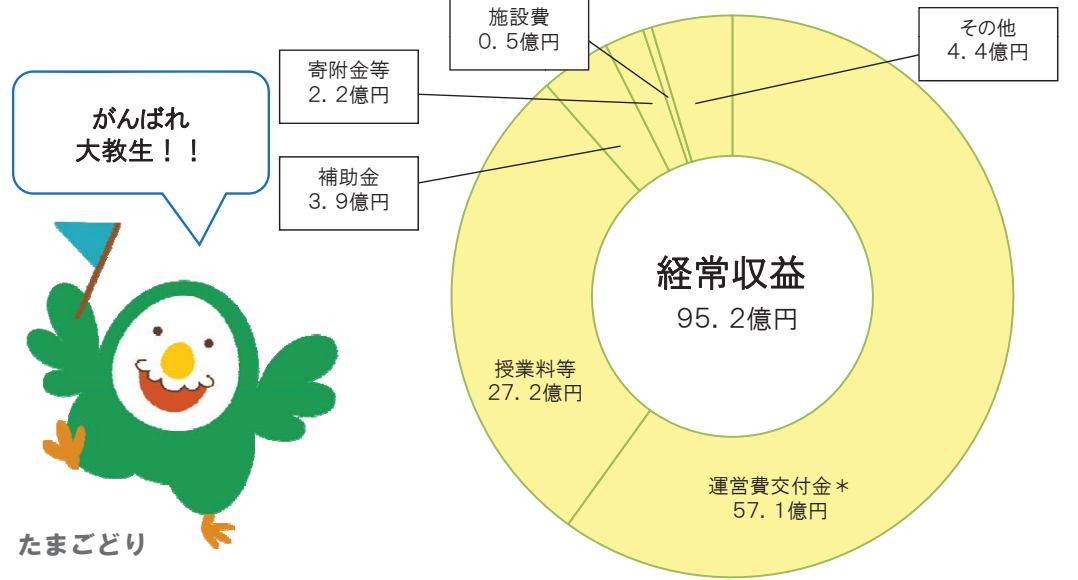
大阪教育大学
OSAKA KYOIKU UNIVERSITY

財務リーフレット2014 こうなってまっせ大教大
対象:平成25事業年度(2013年4月1日～2014年3月31日)
発行:管理部財務課
e-mail:syukeika@bur.osaka-kyoiku.ac.jp

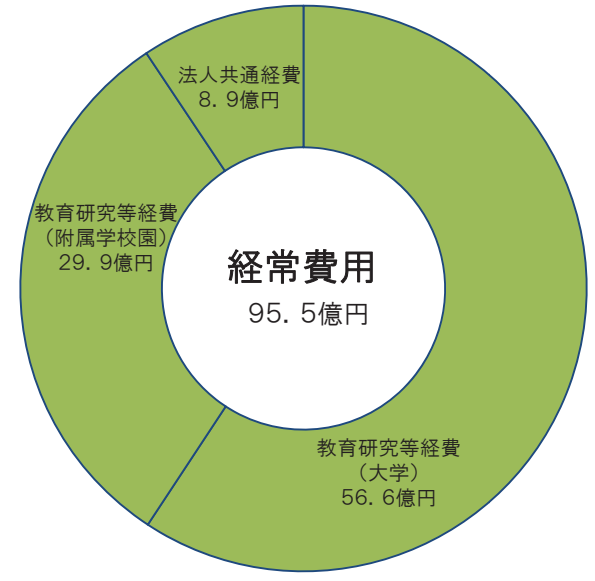
詳細な財務情報については以下のウェブページをご覧ください。
《大阪教育大学財務情報ウェブページ》
<http://osaka-kyoiku.ac.jp/university/zaimu/zaimujoho/>

Q. 大阪教育大学の収益・費用はなんぼ？

平成25事業年度においては運営費交付金*及び授業料等の収益が95億円あり、それらの収益は本学の教育・研究・社会貢献等さまざまな活動において有効に活用しています。



*大学の業務運営のため国から交付されるものであり、国民の税金によって賄われています。



「やまお」「たまごどり」は、大阪教育大学の公式キャラクターです。

Q. 学生一人あたりの教育経費はなんぼ？

平均で
年間100万円
越えているんだあ〜。



教育経費	51億2,519万円
学生数 (学部・大学院・専攻科)	4,684人
学生一人あたり	109万4,000円

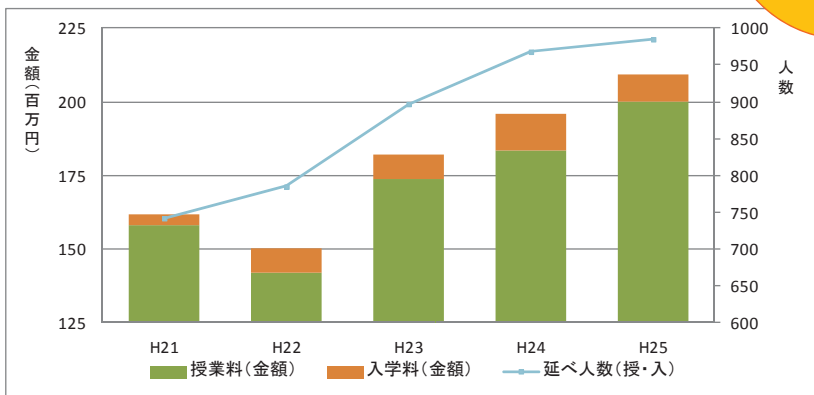
〔教育経費の内容〕

内容	金額
パソコン、講義室設備費など	5億1,731万円
教務システムの開発費、構内緑地保全費、キャンパスの清掃費など	1億8,224万円
講義室等の電気・ガス代など	8,982万円
教職員給与など	37億3,587万円
入学料・授業料免除費など	2億9,188万円
その他	3億9,077万円
計	51億2,519万円



●入学料・授業料免除実績

学生支援の取組として、入学料・授業料について様々な免除制度を設けています。平成25年度は全額免除・半額免除を合わせて、入学料で44人・917万円、授業料でのべ941人・2億1万円の免除を行いました。



平成25年度は
2億円超
免除しました！

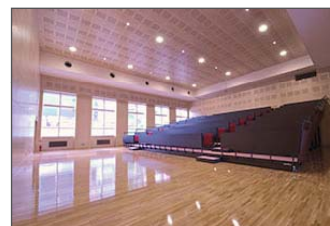
Q. どんな取組やってんの？

○大学間連携による教員養成の高度化支援システムの構築
■教員養成系大学の高度化を目指した大学間連携の取組として、北海道教育大学・愛知教育大学・東京学芸大学とともに、教員養成機能の深化を図る新たな教員養成プログラムの開発等を目的とした『大学間連携による教員養成の高度化支援システムの構築～教員養成ルネッサンス・HATOプロジェクト～』の活動を進めました。

また、京都教育大学・奈良教育大学とは、各大学の強みや特色を相互に活かし、資源の相互活用を図りながら京阪奈地域の教育課題に対応することを目的に『「学び続ける教員」のための教員養成・研修高度化事業～京阪奈三教育大学連携による教員養成イノベーションの創生～』の取組を推進するため、教員養成の充実・高度化に向けたプロジェクト実施体制を構築して具体的活動を開始しました。



HATOプロジェクトWEBサイト



新たに整備された西館ホール

○都市型キャンパスとしての機能整備

■天王寺キャンパス西館を大改装し、京都教育大学・奈良教育大学との京阪奈三教育大学連携事業及び、近畿大学と関西大学と平成27年4月に設置予定の連合教職大学院の「教員養成高度化拠点」、さらには教員免許講習実施会場等を見据えた「都市型キャンパス」として整備しました。

○ICT活用教育の推進

■ICT活用教育のさらなる開発・研究を推進するため、学内にICT教育支援ルームを開設しました。附属図書館においては、柏原本館及び天王寺分館のラーニングコモンズに電子黒板を完備したほか、従来のノートPCに加え、タブレット端末(iPad)の貸出を開始しました。附属学校園においても、無線LAN環境を整えると共に、ほぼ全ての教室に電子黒板の設置を行い、各附属小・中学校について、1校あたり1クラス分が利用できる台数のiPadを導入しました。

また、科学教育センターと附属学校が連携し、理科教育でiPadを活用する方法を開発したり、附属学校及び大阪市教育委員会との連携によるタブレット活用術の講習会を開催したりするなど、多角的にICT活用教育を推進しました。



ICTシステム活用の様子

○大学の公式キャラクターを制作

■学生の自発的組織「学生チャレンジプロジェクト」による全学公募、選考、決選投票を経て、本学の公式キャラクターとして採用された「やまお」と「たまごどり」が、今年度は広報戦略室により着ぐるみやグッズなどに展開されました。Webサイトや大学祭等イベントで披露されるなど、本学が地域からより親しみを感じてもらえるシンボルとなっています。また柏原市役所、柏原市商工会、大阪教育大学の産官学が、公認キャラクターの連携のもと相互に協力し、柏原市の活性化することを目的とした「公認キャラクター連携に関する協定書」を12月18日に締結しました。



後列左から

たまごどり、かしびよん(柏原市キャラクター)、やまお

社会ニーズにあった様々な教育研究活動や事業を展開しています。その一例を紹介します。

